

笠谷以来26年ぶり 魅せた世界一のジャンプ

満点飛行

船木

ラージヒル 岡部は6位入賞 さあ17日団体「金」へ



2月15日  
日曜日  
1998年  
(平成10年)  
PM6:30

ジャンプラージヒル

- ①船木 和喜(デサント) 272.3点
- ②ソイニネン(フィンランド) 260.8点
- ③原田 雅彦(雪 印) 258.3点
- ④ピドヘルツル(オーストリア) 258.2点
- ⑤ペテルカ(スロベニア) 251.1点
- ⑥岡部 孝信(雪 印) 250.1点
- ⑦シュガクエバナー(オーストリア) 244.2点
- ⑧ドレージャル(チェコ) 243.2点

最長不倒136メートル原田は銅

「日の丸飛行隊」が、ついにやっつた。日本の注目を集めたジャンプのラージヒルで、日本のエース船木和喜(22「デサント」)が、金メダルを手にした。1本目126メートルで4位につけた船木は、2本目132.5メートルの飛距離と、世界一と言われる美しい飛型で、逆転優勝した。船木はノーマルヒルの銀メダルに続く、今大会二つ目のメダル獲得。冬季五輪一大会で、個人が二つのメダルを取ったのは、日本選手初の快挙となる。原田雅彦(29「雪印」)は、1本目120メートルだったが、2本目に最長不倒136メートルの大ジャンプを見せて、見事に銅メダルを獲得。「五輪の2本目」につきまとい、悪夢を、自らの手で振り払い、満員の観客を熱狂させた。岡部孝信(27「雪印」)は1本目130メートルで2位につけたが、2本目に恵まれず119.5メートルにとどまり6位入賞だった。斎藤浩哉(27「雪印」)は1本目100メートルで、2本目に進むことができなかった。



スキー ラージヒル 15日 白馬ジャンプ個人

金

メダルラッシュだスピードスケート千メートル清水は銅

飛点オール20点の完璧なジャンプで見事金メダルを獲得した船木(左)。右は136メートルの大ジャンプを見せ、銅メダルに輝いた原田。船木はスピードスケート男子千メートルで銅メダルを獲得した清水(下)とともに、個人で三つ目のメダルを獲得した。

